

英会話に慣れ心に余裕

今回は、リゾート地に見舞われ、今回は二「ハンドレッドアイラツの島にしか行けななンド」を訪れた際のエツツだ。

ピソードと、私が語学学校「CNEI」で思島で、木の間に張られたワイヤを滑車で滑りについて書きたい。降りる「ジップライハンドレッドアイラツ」と、洞窟から水に

次は私がCNEIで思ったことなどについて。初めは全く英語を

留学体験記

八戸短大生が見た フィリピン

ンドは、CNEIから飛び込む「グリフトツ車で3〜4時間ほどのヤンピング」という、場所に位置している国日本ではなかなか経験立公園で、いくつものできないアトラクショ島々が密集しているリソートを楽しめるので、満ゾート地である。本来足することができた。なら四つの島を回る予フィリピンに行く機会定だったが、船がないがある方には、体験すくなるというトラブルすることを勧めました



さまざまなアトラクションを楽しめるリゾート地「ハンドレッドアイランド」

しゃべれず、不安しかなかったが、2週目になってようやく慣れ、現地の英語をニュアンスで聞き取ることができるようになった。英語の勉強も楽しくなり、心に余裕を持てた。

だが、3週目になって周りの留学生と自分を比べてしまい、劣等感を抱いてとても苦しかった。それでも、先輩に言われた「何か一つでもできることが増えたのなら、それは今回の留学は大成功だったと言えるのではないか」との一言で自信を持つことができた。

CNEIでの授業は残り3回。全身全霊で取り組みたいと思う。
(柳沢佳織 八戸学院大短期大学部)